

平成30年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立 浜田小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国調査の結果から見られる課題</p> <p>(1)各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 質問の意図を捉え、条件に合わせて自分の考えを述べる力の育成 ・算数 表・グラフなどの読み取りと、問題内容を把握し、それを論理的に表現する力 <p>(2)質問紙調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の改善をめざす。(就寝時間など) ・家庭学習の時間の確保の取り組み 	<p>○講師招聘による校内研究授業の推進【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】</p> <p>○講師招聘による児童支援研修の実施【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】</p> <p>○ホワイトボードを活用したグループ学習の実施【(1)アクティブ・ラーニング推進支援を活用】</p> <p>○同室複数指導によるきめ細かな授業の実施【(3)授業補助支援を活用】</p> <p>○授業記録を作成し、担任との連携を取ることで、学力の底上げをはかる</p>	<p>○各学力層に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習)【(4)放課後等学習支援を活用】</p> <p>○「学習の手引き」や計算プリント等の作成【(5)学力定着支援を活用】</p> <p>○常時間帯でのドリル学習の実施【(5)学力定着支援を活用】</p>	<p>○「はまだっ子タイム」による基礎計算力の向上</p> <p>○北図書館と連携した読み聞かせの実施【(6)地域人材活用支援を活用】</p> <p>○ICT機器を活用した授業</p>	<p>○質問紙調査</p> <p>「国語・算数の授業内容がよくわかる」に当てはまる児童50%以上を目指す</p> <p>「家庭学習時間が30分まで」の児童の割合5%以下を目指す</p> <p>○基礎計算力の習得を目指す</p> <p>○読書活動への関心、意欲を高め、読書活動の充実を目指す</p>

校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○入学前テストの検証を踏まえた小中における授業改善研修</p> <p>○夏季合同研修会実施</p> <p>○相互の授業参観や授業連携の検討</p> <p>○小・中教科別の合同研修の実施</p> <p>○授業の進捗の情報提供など</p>	<p>(1)アクティブ・ラーニング推進支援</p> <p>(2)先進校視察支援</p> <p>(3)授業補助支援</p> <p>(4)放課後等学習支援</p> <p>(5)学力定着支援</p> <p>(6)地域人材活用支援</p> <p>(7)その他</p>	<p>○主体的に伝え合い、考えを深め合う授業実践の推進(桃山教育大学今宮准教授4回)</p> <p>○児童支援の在り方(関西国際大学百瀬准教授1回)</p> <p>○ホワイトボードを活用したグループ学習の実施</p> <p>筑波大学附属小学校 視察</p> <p>○低学年の算数の学習において嘱託員による同室複数指導を効果的に行う</p> <p>○夏季休業期間(2h×2回×7日)</p> <p>○「学習の手引き」、学習プリント等の作成</p> <p>○北図書館と連携した読み聞かせ(地域ボランティア10人)</p>	<p>○「家読」の実施による読書力の向上</p> <p>○学習の手引きや学習プリントを活用した学習習慣の定着</p> <p>○学力調査結果の公表</p> <p>○家庭学習時間の確保</p>